

續
夕群書類從
教育部

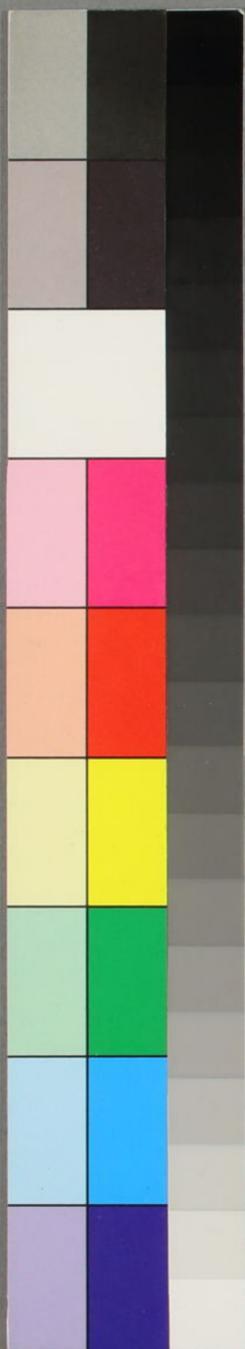
不用

但徠先生答問書

上

仁13
1204
1

25



門 仁 3.
孫 1204
卷 /



答問書序

子遷所校。徂來先生答問書成。子遷蓋謂
經生家專修心為教。浮屠氏何別人。皆曰
天下國家。惟聖人生知。不可尚已。自非聖
人。則何以哉。禮樂刑政。以至百爾所具。六
經所載。窮年不可盡。若以修心足矣。則墨
摩氏可矣。何必讀書。然後行道。世之耳學
者。亦復經生家是守。即稍稍取古經視之。



皆已經生家附以為說者乃謂聖人之道
六藝之奧亦惟如此而後邈與古違矣則
亦不知聖人之道雖百世無不可行者即
以名高私慕徂來先生者亦不得窺之則
猶尚以世之經生視之見以為迂事情子
遷蓋憂之也余語子遷曰傳焉哉登高必
自卑此書雖以國字行豈不裨益後世哉
且夫非入其門不可觀室家之美雖先生

之門牆大高哉如我與吾子亦皆得與聞
其說而如先生他所著亦未可遽以暗投
人則此書庶乎為先容焉乎以余忝在邦
君之末不得延後生而一諭之乃序其端
以善子遷之舉且以言志之同乙巳之春
西臺滕忠統撰

徂來先生答問書序

自洙泗之道散而大義乖後世不出聖人
吾誰從也無已則六籍已漢收秦餘燼而
詩書多缺然學者猶考信於是自吾非聖
人信而好古君子義也古也者三代先王
聖人之道六籍所載者是已其所損益雖
百世可知也輪不斲不得為車木不剝不
得為舟後世雖機利者陸行可舟與水行

可車與有所不行也。而舟車猶有倫。天道
恢恢。道其則之。七十子沒。而諸家殺亂。瞋
目語難察。焉自好。彫龍炙轂。懼然顧化。擾
擾絲棼。道將為天下裂。或謂吾可以為聖
人。或謂通性命之道。可以坐治天下也。後
世祖述此說者。曷嘗不謂聖人之道。具是
矣。雖陽為推尊六藝。然事有所不合。則亦
陰斷之。諸子甘心其所徵焉。所謂詩書恒

言者。子焉為芻狗。曰吾之可以為聖。則孔
子而後。數千餘年。園冠方履。逢衣博帶。魏
然稱儒者。莫不謂吾是聖也。是何聖。抑何
多也。曰有此理。蓋可學而為。則孔子而後
數千餘年。寥寥乎不見一人造焉者。而欲
造焉。抑何迂也。則吾不信也。至性命之說。
後世滔滔者。皆以為言。推歸至微。割膚分
理。要亦濫也耳。靜言庸違。其奈天下國家

何而其徒誦義無窮此何以稱焉夫道也者先王之道也治天下焉唯其治天下而國家而身舉大者而小者見焉聖亦王者稱也周公孔子果遵何德哉君子傳其道奉承唯謹用之則行舍之則藏是為得耳非誦古文安能知本之大義哉以余既受業徂來先生也從遊者時時多問先生所得如何唯是後世多歧不知所由瞽者無

相俵俵何之有社友根伯修所私錄者蓋先生所答遠人書也伯修親在先生塾中每所見輒從旁私之以秘乎帳中余既探而得之遂相與校而授之梓人其文辭不修飾者不請之先生也雖不請之既之亦恃先生之不咎成事也此書也雖緒言也亦舉一隅之道也學者乃以三隅反則知先生之學之所由也知先生之學之所由

也則知先生所奉承六籍所載先王聖人之道也此謂知本先生所著有辨道辨名論語徵諸書未行也其詳今不具列云享保甲辰春三月平安服元喬序

徂來先生答問書上

一 何少也平生涉提擲執持之感以多利益多以做之乎道以多而采之如何下以幸境以深切之感感公聖人之道廣大無邊有以做之就中君子之道之君子仁之仁小又肝要而有以言在仁之慈悲此事之大形之得也以此慈悲小極之在仁之切之訓解亦之仁之在天理人欲之說之後世之見識亦大有相遠之也

惻隱之心に仁也と云ふも。孟子父子相有るは
事。うたひ。惻隱之心。大形。は。居。あ。か。の。慈。悲。
を。以。て。今日。雖。も。用。ひ。詩。経。も。民。之。父母。と。う。て。語。
う。た。ひ。是。れ。小。人。の。記。注。解。を。う。た。ひ。民。之。父母。と。う。て。
の。得。る。事。と。う。て。又。母。と。う。て。其。家。の。事。と。う。て。
可。な。い。職。き。民。の。事。と。う。て。其。家。の。事。と。う。て。
火車。の。娘。も。う。た。ひ。い。で。り。の。女。房。も。う。た。ひ。う。た。
いた。一。キ。の。右。前。子。も。う。た。ひ。い。で。り。の。三。男。者。
し。い。う。わ。く。一。き。媳。婦。も。有。り。又。婿。第。一。家

末。年。一。年。用。小。巧。片。端。の。下。等。器。
幼。少。り。一。家。に。せ。び。え。る。恩。に。あ。り。て。
と。も。す。ぎ。る。若。女。奴。も。多。く。そ。り。と。も。八。増。も。多。く。
く。肉。と。理。非。也。と。い。う。人。も。多。く。あ。ら。う。
あ。ら。う。と。う。事。と。う。て。これ。を。家。に。眷。属。と。天。下。
授。け。り。の。者。も。多。く。何。方。も。一。年。一。年。一。年。
其。家。の。日。給。を。う。た。ひ。あ。ら。う。者。も。多。く。と。う。て。
下。等。也。炎。天。と。う。て。雨。と。う。て。田。を。耕。す。と。う。て。
若。し。き。徳。を。勤。め。人。の。賊。と。う。て。恥。辱。と。う。て。

家内をば随分小目次に見ゆる年月と送るは、
何れも志かり打擲をまいたしゆりて、この意趣を
見るも不ぬれ也。見放し心をあらす。一生に
右の者たを苦ふいたし事。是天性父母し心かくの
おし成地を。きれも賤き民に、
ウたは。家子百石二百石も。子石二石も。あり
まし國郡し主。天下を知らし方。かたの心
を、
方い下小口傍き事。是なる西僧。全く

量の大小より起りし。賤き去民より、
かて者たを。士大夫諸侯より、
願内とたのし。苦い。家内の者願内の民を、
らき見教されぬ眷属し心れ付。其心
ちいきて、
己う内を、
弱のおし。非力から者。強力の、
叶ふ。小量の人の何れも大量に成り、
可思。小量の人。苦い。天下も苦い。

彼一國と苦いたし。天子の天下を苦ふは福の^一の^一
量も成兼りし。士大夫の家内と苦ふいたし。諸侯
比一國と苦いたし。天子の天下を苦ふは福の^一の^一
元末天よりそれ程の福分を^一蹴^一廟^一を^一然^一りて。其程の^一
上に^一涉^一生^一き^一て。其人の^一か^一分^一を^一不^一法^一事^一を^一究^一
りて。無^一友^一風^一俗^一不^一淳^一て心乃^一決^一ぬ^一れ^一て。堯舜孔子
の道世より^一引^一れ^一る^一なり。是非^一邪^一正^一の^一争^一の^一聖^一人^一
かりしを^一辨^一り^一ん^一為^一の^一か^一り^一の^一方^一便^一。佛^一老^一此^一輩^一人^一
か^一し^一も^一成^一る^一を^一と^一し^一て^一事^一と^一此^一教^一は^一小^一量^一乃^一

儒者それを妙道と^一思^一ひ^一。其^一善^一似^一を^一して。聖^一人^一の^一
已^一と^一治^一ひ^一り^一外^一が^一り^一と^一云^一は^一流^一義^一廣^一り^一ぬ。王^一公^一
大人も^一學^一問^一を^一な^一れ^一共^一は^一小^一量^一なり^一ぬ。此^一百^一年
以來世の人^一便^一利^一を^一先^一と^一て。出^一世^一者^一と^一名^一付^一事^一世^一の^一
風^一俗^一を^一り^一ぬ。王^一侯^一も^一只^一尚^一分^一れ^一や^一それ^一人^一
思^一ひ^一心^一ゆ^一き。一切の^一事^一を^一歡^一と^一して^一り^一。その^一親^一戚^一を^一
主^一苦^一せ^一り。主^一人^一を^一主^一と^一す^一に^一か^一ら^一ず。只^一吾^一身^一ひ^一る^一を^一
思^一ひ^一と。今^一乃^一世^一に^一終^一了^一簡^一し^一人^一は^一仕^一ふ^一天^一より^一附^一屬^一也
成^一る^一眷^一屬^一。則^一天^一より^一與^一は^一る^一福^一分^一なり。只^一放^一是^一終^一る^一。

一再三々何事修徳致水知い。何事修徳も只今とて此等同
形魔ニ成りしは了簡と付しは好い。前書中を修徳致百
年来く儒者の誤り^{あやまり}を又くしは了簡と付しは好い。容易ハ此得心
におよばず。今一性修徳し又くしは了簡と付しは好い。是
堯舜禹湯文武と古し聖人といふ皆古し人君と
いふ道といふ也。天下國家と平治を成るは。聖人の建
立しは通といふ。是を天地自然の道といふ事ハ
元老存し説より起りし事。儒書に修しし事ハ
む聖人の廣大甚深かり智慧と人持物^{ぶつ}にさう

ぬ極^{たぎ}を立^たて。事理かり事ハ毫髪も修しし事。聖人
出治のぬいおより。天地より自然く修りし事。道理ハ
今日の人も教心お立^たてり。求めんとあつし思ふ事ハ
説くも誤りし事。されば古之人君の天下國家と平
治すは。建^たてし道といふ事。仁と修しし事。依
依見仕心より見聞きありし事。聖人の道の六事。事ハ
了簡と付しは好い。是聖人乃治す事と
忘きは。了簡と付しは好い。士と修しし事。天下國家と
思ふ事。治す相も了簡と付しは好い。民と父母と

ねりつゝたゞ其其自れ役とのことなり。相殺に
助けあひて一丈かけりてふぶと立やん。されば人々も
とれある物なり。とるれぐし別あり地も天も皆くわ。滿世
家乃人ありて人君の民の父母とあり治ふを助けん
役人といひ。是は内視する相殺なり。是は士大夫の
事と君子と。君子と中士と。子ハ男子の通稱と云
漁わら男子と中事と。孔子の君子仁を去ていばん
名を成ん。其いふも。君子といふ名にけりけり。地と
中事とをいふ。莊老の乃山林は義居ハ一人との乃

よての釋迦といふも。世は捨家と辭き乞食の境
にて。まじり工夫し制坊道とせられ。衣身心のこと事
計も。天下出家を治むは乃は説なり。是は聖人の乃也
ゆゑ己が身と治むは乃は相殺。己が身と心と治むハ。
天下國家もとの代り治むは乃は説ハ。佛老の諸餘
とて思はれ。此聖人の道も身を修むるもの有り也。
されば人のよふ立人ハ。身は乃儀無支也。下は乃人梅
理り。衣服ありし。人情の常にして治むは乃は説ハ。
縁故さす。き乃身を修むる。乃。楚角ハ天下國家を

惟め乃ち^{しん}が^い聖人の道乃ち^まま^さこ^しと^すれ^ばに^とし^て
何程心と治め身と修め。無^いの^まま^にと^して^修め^ば
孰^もた^しと^ら苦^し世^に生^かれ^ば心^を治^めば^して^は
乃と^して^しる^を。何^れも^も事^には^して^は依^るは^民と^父母^に
と^して^しる^は見^え用^ひき^不り^し。何^れ程^の今^をめ^めも^も孔子^に
佛^の相^傳へ^ば堯^舜禹^湯文武^周公^乃道^はに^して^は泥^に萬^里
里^に相^傳へ^ばと^して^は聖^人の^道と^佛老^の道^の分^け
き^り。只^は云^ふと^して^は思^ひ不^りし。

一 兼^て答^へる。最^もお^り入^りに^して^は疑^いを^して^はも^も外^に無^しく^のに^疑い

綱^も教^へる^に多^く入^りに^して^は疑^いを^して^はも^も外^に無^しく^のに^疑い
く^功績^をし^る。以^て疑^いを^して^は多^く入^りに^して^は疑^いを^して^はも^も外^に無^しく^のに^疑い
並^に有^るに^して^は相^見る^に。以^て志^をし^て程^に感^入る^に。想^ひを^して^は學^問に^も
相^合ふ^に。自^らに^して^は合^はぬ^に。以^て疑^いを^して^は多^く入^りに^して^は疑^いを^して^はも^も外^に無^しく^のに^疑い
以^て通^じる^に。末^に世^にに^して^は疑^いを^して^は多^く入^りに^して^は疑^いを^して^はも^も外^に無^しく^のに^疑い
時^にに^して^は今^の時^にに^して^は傳^へる^に。一^にに^して^は疑^いを^して^は多^く入^りに^して^は疑^いを^して^はも^も外^に無^しく^のに^疑い
論^にに^して^は疑^いを^して^は多^く入^りに^して^は疑^いを^して^はも^も外^に無^しく^のに^疑い
亦^にに^して^は疑^いを^して^は多^く入^りに^して^は疑^いを^して^はも^も外^に無^しく^のに^疑い
聖^人の^道は^人情^にに^して^は疑^いを^して^は多^く入^りに^して^は疑^いを^して^はも^も外^に無^しく^のに^疑い
今^の世^にに^して^は疑^いを^して^は多^く入^りに^して^は疑^いを^して^はも^も外^に無^しく^のに^疑い

此の書は、其の聖人の智、其の智の極、其の極の極、其の極の極の
道。何き世にもなり、其の世に深き道に
下りぬ。おれは、其の世に入り、其の世の疑、其の疑の疑、其の疑の疑の疑、
一此間歴史を、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、
目と、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、
資治通鑑、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、
成り、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、
目の綱、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、
起り、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、

獲^{ハク}取^クり、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、
たり、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、
氣、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、
ゆ、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、
歴代、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、
悉皆、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、
學問、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、
成り、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、
經綸、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、其の世に成り、

此は愚解して今世此人を見れば人柄も成り
おもしろい。まゝ綱目も論議。中判も押つた。
格定まり道理一定してわが極まりず。天地も
活物。人も活物。を纏かして縛りかたはる。
見ゆ。誠は無用。子同。其人の利を長し。こと
定む。事實計し。資治通鑑。勝りず。其上
四書。思慮。要補。理窟。きや。又まゝ
綱目。史記。古今の事跡。上へ。朱子流の理窟と
孫少愚。其

学問。死耳。長目。道。荀子も。け。國。居て。見
ぬ。異。耳。翼。あ。ま。て。死。行。こ。
今。世。に。生。きて。教。子。載。の。昔。事。と。今。目。さ。る。あ。く
な。る。の。長。き。目。な。り。事。は。見。聞。廣。く。事
實。小。事。と。學。問。と。事。と。學。問。の。歴。史。と
極。り。古。今。和。漢。一。通。不。可。也。け。今。世。の
風。俗。も。内。り。目。と。見。か。居。り。事。も。誠。井。の。内。乃
蛙。の。常。て。い。の。世。と。人。も。功。者。な。り。人。な。り。で。八。拍。し。用
事。小。事。の。功。者。と。老。人。有。し。物。の。國。と。多。く

勝りては文章拙くは事々情心は移りかたし
感歎も無きなり。其去き去き書籍も乏しは。何處
か。只國々と遍歴せし長壽を古今と評見
る。心も。理窟とて何れはなかり。ひしこの
心腹なり。何れもく得るに多しなり。以上
一 唐宋諸儒は經史の書を以て其の事實たる實
の上が能く。能く心付く存は。猶其心は是れ事
の在り。三代の時分は封建の世なり。秦漢以後は
亦宋明も皆郡縣に代りて。封建の世。郡

縣に世たり。天下に制法して其の別を以て。封建
の世。天下を諸侯に分ちて。天子は其の僅の
事なり。諸侯の長。皆世禄を代り知り。不と持る
者。其の賢者と奉用する。是れ大體人の分
限り定り有る。士大夫はいつも士大夫なり。諸侯は
其の諸侯なり。人の心定り。是れ世なり。法度も
細く。只上下の恩義を治り。廉恥を重んず
る。先いたし。諸侯も大夫も。皆其の治り
國を治り。事々其の在り。郡縣の世。諸侯と云

世世文皆一代切に。知は下も多き皆切来れ。其
為くは。下司と多くはけり。それとも。さりと
持し事。天下乃必郡を治め。太守縣令とも。皆
代官し。故あり物なり。三年移り。威勢所く。皆
法度。三任三代。移り嚴密。天子の國郡と移り
り。志とも三年移り。急。驗。見。事と才。三
致。風俗。六民。起。宰相。立。身。後。一
事。事。士。大。吏。立。身。と。求。め。忠。實。人。是。三。代。と
後。世。の。大。臣。の。か。き。見。日。か。も。古。郡。縣。七

也。今。程。封建。は。如。り。唐。宋。諸。儒。は。後。に。此。用
が。た。紀。事。の。書。に。唐。宋。諸。儒。は。説。は。多。く。紙。上。之
論。を。考。え。紙。上。之。書。は。採。り。不。可。し。し。る。
實。は。此。の。ひ。が。き。事。と。乃。理。の。見。え。こ。り。に。何。を
あ。ら。は。し。る。原。書。を。て。己。が。才。智。と。あ。ら。し。る。事實
構。成。只。圓。珠。に。紙。に。必。を。り。し。相。身。の。如。く
学。志。の。認。り。也。今。其。書。と。出。版。必。く。皆。く。也
故。に。思。は。れ。た。言。事。は。玉。と。治。め。た。ん。
醫。者。病。を。治。め。り。元。氣。を。一。り。て。疾。も。有

火も亦合積する。疝氣も亦病有り。咳出て腹も
病人の病なり。元氣を補ひ。痰火を静め。合積を消。
疝氣を抑へ。咳と止め。瀉と止め。配劑をいへりも
不始加減して。おかりね。疝氣の病。大形ハ下子醫
者のこと事なり。功者なり。療治ハ。元氣を補ひ。
後。痰火を消する事も有り。先。痰火を消し。後。
後。元氣を補ひ。元氣を補ひ。元氣を補ひ。元氣の
外ハ。接する。そのついで。痰症愈り。元氣の
病根。疝氣と見て。疝氣を治して。おのり。愈

いも有し。又。疝氣ハ。久。疝。痰。病根。疝氣
と見ても。疝氣も。治。出。何。調。理。行。り。も。
自然。愈。り。者。なり。愈。り。者。之。ハ。標。症。なり。愈
り。者。之。ハ。先。瀉。と。止。め。其。上。之。ハ。痰。の。療。治。と。も
有。り。也。是。は。療。治。と。も。有。り。也。功。者。も。有
り。也。一。途。之。ハ。物。也。さ。き。大。白。人。の。子。等。ハ。明。細
一。つ。も。病。あり。と。相。し。す。後。事。和。漢。一。同。也。多
く。人。之。す。後。さ。は。後。也。紙。之。論。と。明。細。也。
有。り。也。是。等。ハ。書。の。人。も。君。と。認。り。と。お。も。思。ふ。也

事も有之。孔子の沛詞。君子其言訥訥。是
ゆと。其故を尋くも。為^{ナカ}之。難^トと。沛^ト答^ルぬ。君子の
國を治る民を安んずる。ハ。むつ。一。き事也。其
言。と。か。一。得^ルに。君子ハ。心安く。埒明^ニ。後。と。す。さ。ぬ
事。と。中。意。と。す。ウ。在^ルハ。誠。う。世。俗。に。誘^ル。よ。た。す。ぬ
ら。は。た。る。ぎ。と。和。悦。中。致^ス。経。済。論。に。多。く。有
し。事。に。は。され。た。ら。ぎ。ハ。さ。ぎ。の。上。う。一。く。ウ。在^ルハ。経。済。計
事。ハ。五。を。治^ル。ひ。の。足。ら。ぬ。事。多。し。見。ん。事。
廣。ひ。の。ぬ。く。経。済。の。書。は。中。致^ス。事。學。問。を。修。

學問ハ只廣く何事かを事に入る。己、知見を後
し。事。と。ウ。在^ルハ。経。済。の。論。を。面。白。く。思。は。し。也。
政務ハ沛^ト出^ル。の。事。也。而。實。用。に。用。は。ら。ぬ。己。が。知見
小。き。され。ハ。其。の。事。も。少。く。思。ひ。己。が。量。小
き。され。ハ。知。る。事。を。と。り。出。し。て。用。ひ。た。ら。ぬ。物
に。ハ。是。皆。一。の。事。也。其。事。ハ。事。也。此。戒。也。肝
要。ハ。此。也。

一 此。下。ハ。勇。氣。に。不。足。也。武。門。に。ハ。有。る。以。余。滋
し。聖。人。に。ハ。も。知。仁。勇。と。三。達。徳。と。り。て。君子ハ

勇にして不叶事。大抵はあつての如くゆゑに
以事は氣遣事。人情も帯はつた。たゞ
船歌の風波を忍れらぬ勇も似た。馬のせりも
思まぬ。世に武篇者と多し人も。流法し場は
少。強ひは腰りし有し。皆あつた。事
ねら。又幼児の座し方。遊び戯まぬ坪の向を夜中
かた。思まぬ。抱はち用。見え不。抱は
乃理と知まぬ。危^名は不。抱は。道行と
と計ばし。知まぬ。知まぬ。知まぬ。知まぬ。

成中。抱は。只何たり。われり。才一。初は
あつて其事。かき。後。は。危^名も
次身。うせり。は。事。は。りて
抱は。つた。これ。あつた。元来
勇氣。不足。は。大抵。通。世に
中。人。力。の。及。不。あつた。
大。分。に。必。勇氣。下。け。其。人。力。乃
と。き。不。場。は。天命。は。お。た。り。は。他
あつた。は。故。は。勇。は。天命。と。知。り。

知れぬ事も多し。仕は事として成る。世の人此富を以て
貴と得るを己の努力に成得たり。愚かな心
存らぬ。天の賜を得た也。やむを得ぬ。一
時成就し。その時何れも破きぬ。一
定し。天道の賜を以て成就す
と。事ハ多し。事ハ。た。農民の田を耕す。及
随分。農作の力成る。大風水旱ハ人力の及
ばぬ。明に作。人の子とせしむ。汚乳の
と。成りける。成我さす。なり。なり。なり。なり。なり。

流。目。目と付。大名の子も。怪。事有る。又。賊。其母。涙。心。誰。溝。牛馬。土。乃。天命。一天。事。心。動。

況んば其細者事をも。元等二等事をもと思ふ。
 集義工夫と云。理窟深く。片之地に成り失有り。
 物は。又理窟と云るれ。場と云りて。却りて人
 物と云ひ。名。勇氣出ず。物は。孔子の不知天命を
 以て君子と云へり。知仁勇の三徳一通らざる。
 と思ふ。六経に載り。堯舜禹湯文武周公孔子。
 皆天命を主として。一の事をも。
 一 總して風雲雷雨天地の妙用也。神雷の生く
 淫佛の事。是より外に愚考あり。古

陰陽之氣なり。或は鬼神之所為なり。或は歟と類
 せん。畢竟天地の活物と云ふ。不測なり。物と云ふ。人乃
 限る。智として思計し。大に。その情況も。
 皆推量し。沙汰する。事は。
 論君子と云ふ。同。國家を平治する。事と云ふ。
 事と云ふ。人事の上の事。格物致
 知と云ふ。事と云ふ。事。
 一系一本の理。
 為り。天地の間のあり。事と極め。

あつた事なく。物あり。いふ物。なりたき。いふ事。なり。
中庸。雖。聖人。有所不知。いふ事。なり。凡人。此。知。意。で
何として。知。り。是。後。いふ事。なり。有。し。いふ事。なり。宋。儒。の。説。人。の
か。し。ぬ。事。を。立。て。人。と。強。ゆ。り。いふ事。なり。是。より。いふ事。なり。一。物
不。知。と。恥。し。む。事。なり。いふ事。なり。と。儒。者。聖。人。の。事。なり。皆。言。慢。の
心。入。り。聖。賢。の。道。いふ事。なり。有。る。事。なり。風。雲。雷。雨。の
起。り。天地。の。妙。用。人。智。の。及。ぶ。所。新。に。事。なり。の。花
さ。れ。み。の。り。水。乃。流。き。山。の。峰。ち。いふ事。なり。の。の。び。歎。り。いふ事。
人。の。事。所。物。と。いふ事。なり。いふ事。なり。いふ事。なり。いふ事。なり。いふ事。なり。

あつた。後。の。理。学。者。の。事。なり。節。の。僅。く。陰。陽。の。行。た。と。い
ふ。名。目。の。使。う。て。いふ事。なり。いふ事。なり。義。理。を。いふ事。なり。いふ事。
それ。と。いふ事。なり。いふ事。なり。いふ事。なり。いふ事。なり。いふ事。なり。
其。れ。の。知。り。と。いふ事。なり。いふ事。なり。いふ事。なり。いふ事。なり。いふ事。なり。
いふ事。なり。只。す。いふ事。なり。いふ事。なり。いふ事。なり。いふ事。なり。いふ事。なり。
か。ら。天。地。の。上。に。いふ事。なり。いふ事。なり。いふ事。なり。雷。ハ。雷。の。可
いふ事。なり。いふ事。

一 佛。教。親。佛。法。の。信。仰。を。法。制。尚。と。いふ事。なり。佛。教。の。信。仰。は。
自。ら。の。心。孝。行。の。相。違。り。の。由。依。り。外。の。心。孝。行。と。

尊^ん。末世^の。信者^の。聖人^乃道^を。我^私。拙^く。極^に。存^ん
り^ぬ。不^ぞ。覚^{おぼ}。一家^を。立^りて。孟子^の。揚^揚。墨^墨。と。争^ひ。宋^の。儒^の
佛^の。老^の。争^争。争^争。其^其。心^心。入^入。と。尋^尋。り^得。て。早^早。竟^竟。嫉^嫉。妬^妬。し^心
其^其。治^治。場^場。き^次。第^第。に。聖^聖。人^の。道^道。に。國^國。家^を。平^平。治^治。さ^る。大^大
以^以。佛^佛。法^法。杯^杯。と。肩^肩。を。并^并。べ^る。は。極^極。か^り。事^事。と。は。之^之。に。在^在。り^ぬ。
佛^佛。法^法。に。其^其。一^一。人^人。の。才^才。心^心。を。活^活。け^る。事^事。を。教^教。へ^り。し^も。亦^亦。其^其。聖^聖
人^人。の。道^道。の。精^精。ひ^ひ。成^成。り^ぬ。也^也。之^之。を。在^在。り^ぬ。然^然。さ^ら。ば。相^相。子^子。も。是^是
不^不。可^可。の。相^相。子^子。を。相^相。子^子。と。い^い。た^ら。目^目。に。か^か。け^け。り^ら。し^も。世^世。俗^俗。に。は
職^職。仇^仇。の。見^見。に。相^相。似^似。す^る。也^也。宋^宋。儒^の。の。学^学。子^子。同^同。に。佛^佛。法^法。に。在^在。り^ぬ。

似^似。巧^巧。を。と。嫌^嫌。ひ^ひ。て。争^争。ひ^ひ。り^ら。し^も。亦^亦。其^其。古^古。学^学
を。争^争。ひ^ひ。に^ん。其^其。修^修。行^行。の。道^道。に。不^不。孝^孝。と。遊^遊。び^び。し^も
事^事。無^無。勿^勿。休^休。め^め。存^存。り^ぬ。孔子^の。の。博^博。奕^奕。も。金^金。む^む。賢^賢。さ^ら。う^ら。也^也
之^之。に。在^在。り^ぬ。人^人。の。只^只。ひ^ひ。を。争^争。ひ^ひ。て。わ^わ。け^け。れ^る。也^也。ひ^ひ。し^し。を。居^居。て^も
こ^こい^い。に^ん。は。小^小。様^様。と^も。無^無。友^友。事^事。物^物。未^未。し^し。也^也。之^之。に。在^在。り^ぬ。孔子^の
也^也。其^其。作^作。り^ぬ。聖^聖。人^の。の。人^人。情^情。を。よく。也^也。存^存。知^知。り^ぬ。也^也。以^以。所^所。由^由
以^以。見^見。ひ^ひ。き^き。ら^る。天下^の。國^國。家^を。治^治。り^ら。し^も。也^也。掌^掌。に。運^運。了^了。次^次
也^也。之^之。有^有。り^ぬ。年^年。考^考。り^ら。し^も。也^也。な^なま^ま。と。勤^勤。ま^ま。し^も。辯^辯。し^も。聲^聲
色^色。の。好^好。も。廣^廣。く^く。り^ら。り^ぬ。年^年。法^法。の。た^た。し^も。ひ^ひ。の。朋^朋。友^も。次^次。第^第。に。少^少。く

かり。あまき人の己と同士しわす。汝の家事ハ子たる譲り
ぬき。再つらふ。ゆきも。次等ニ^ぶ解^り成^り事^に。
わすし。棋象我双六も打ち。寺系法義系。宿了
の附。念佛ももす。ゆりおハさりとて。ハ不作す。ま
作と。以制高う。何を不作とて。寂^せ愛^れを以^て懲^りす。高
ま。老後し境界思下す。うづい。其上佛法世上は
これゆ。千年小進く。傍も天下し。民は。聖人
道ハ民を安んじりと。本^に。痴氣^を積^る聚^るの痼^疾小
なり。偏^に。痛^を勸^め療^を治^すと。い^はせ^り。是^を以^て除^きす。ハ

配^信。配^信ハ施^しふ^り事^に。蛇^蝎毒^虫も天地^に化^育す
これ不^し。ま^{して}佛法^も末^乃世^ハ相^應く^利益^も
有^之。な^は是^非邪^正。さ^ら別^にく^由入^り。古^に淨^法
有^しゆ^と存^ん。汝^も家^法起^す。こ^の法^に。不^顧思^ふ
中^入。ハ

答問書上終

